

## 「生見小学校の『おた踊り』 伝承活動の取組」

1 学校名 鹿児島市立生見小学校

2 学年・人数 3年～6年 13人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年9月 4回 小学校体育館及び校庭

(2) 発表の日時・場所

令和4年10月2日(日) 小学校運動会 校庭

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称 生見おた踊り（ぬくみおたおどり）

(2) 由来

薩摩藩主島津の殿様から出陣を命ぜられたとき、その門出に踊ったものといわれている。生見校区に伝わる「おた踊り」は、万延・文久のころに、久津輪三四郎氏が日置郡阿多村（現在の金峰町）から伝授されたものといわれている。一説には、もう帰らない覚悟で出陣した武士達が、戦いすんで戻ったとき、再び家族と会えた喜びを表した「逢うた踊り」であったといったともいわれている。

(3) 構成等

白鉢巻きにかすりの着物、紅白のたすき・前掛けをつけ、青手甲・黒脚半・白足袋・草履といういでたちで、右手に三又槍、左手に房の付いた飾り太刀をもって前後2列になって踊る。歌い手の歌に合わせて、右手の三又槍を軸に体をひねったり、飾り太刀を大きく振り回したりして優雅に踊るのが特徴である。その際、節目に昔ながらの言い回しをみんなで掛け声かけるのも一つの特徴である。

5 保存会や地域との連携の具体

長い間、婦人会や女性の間で伝承されてきたが、平成7年に保存会が結成され、毎年、生見小学校の児童が運動会で踊りを発表する際に、指導することで伝承活動を続けている。指導に当たっては、「個性あふれる学校づくり推進事業」を活用し、指導者の負担軽減を図っている。また、最近ではコロナウイルス感染症拡大防止策のため実施できていないが、校区のふれあい祭りや喜入地域の総合文化祭で披露することもある。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

小学校児童への伝承活動に留まらず親世代への伝承活動を進めようと、校区まちづくり協議会と連携を図り、運動会での発表に向けて児童の保護者や兄姉などのきょうだいの参加も呼び掛けた。今年度の運動会では、6年生の保護者を中心に十数名の保護者が児童と一緒に踊りを披露した。練習には、きょうだいの参加も見られた。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）

### ○児童の練習の様子



### ○保護者の練習の様子



### ○運動会での発表



## 8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【6年生児童】

今年で、小学校最後のおた踊りでした。今年は、間違えることなくしっかり踊ることができました。それは、保存会の方々が4年間しっかり指導してくださったおかげです。最上級生として、下級生に教えることもできました。

おた踊りは、生見の宝です。これからもみんなで大切にしていきたいです。

### 【保護者】

何十年ぶりかにおた踊りを踊り、小学校時代を思い出すことができ、良かった。踊りは、足の動きが難しく出来としては40点。来年はもっと上手に踊れるように練習したい。我が子と一緒に踊れたのも良い思い出となった。

### 【保存会】

子供たちも保護者の皆さんも一生懸命練習して、真剣に踊りに取り組んでくれたことがとても嬉しかった。練習をとおして、子供たちや保護者の方と交流できたのも良かった。今後、この伝承活動が今より活発になっていくことへの期待を膨らませることができた。

### 【教職員】

毎年、力強い踊りを見て感動させられてきたが、今年度は児童と保護者が一緒に踊る姿を見て地域の誇りと郷土愛を感じた。この伝承活動が今後充実していくように活動を工夫・支援していきたい。